

1. はじめに
2. 実験結果
3. 実験結果
4. 実験結果
5. 課題
6. . 課題
7. まとめ

進捗報告

辻 瑞玖
Ruku Tsuji
u220039@st.pu-toyama.ac.jp

富山県立大学 工学部 情報システム工学科

13:10-14:50, Tuesday, May 27, 2025
N516, Toyama Prefectural University

研究の目的

2/8

目的

- プログラムを修正していくうちに、webで表示される献立に対して、栄養素と食材の欄の情報が、他の料理のものになってしまふ原因がわかった。
- 一度、修正を始める前のプログラムに戻り、修正作業をやりなおした。

1. はじめに
2. 実験結果
3. 実験結果
4. 実験結果
5. 課題
6. . 課題
7. まとめ

実験結果 1

3/8

原因

- アレルギーや抜いてほしい食材を選択・指定した場合に、抜けた献立分かれてしまう。
- システム内では、フィルタを通した後のレシピ番号になる
- web で表示される、栄養素と食材の欄の情報は、フィルタを通す前のレシピ番号の csv ファイルの情報を取得してしまうため、ずれる。

結果



図 1: ずれている状態

1. はじめに
2. 実験結果
3. 実験結果
4. 実験結果
5. 課題
6. 課題
7. まとめ

実験結果 2

修正内容

1. はじめに
2. 実験結果
3. 実験結果
4. 実験結果
5. 課題
6. 課題
7. まとめ

- original indices list の作成
フィルタリング前の元のレシピインデックスを保持するリストを作成し、後で CSV 保存時に使用できるようにした。
- 最初のソート処理の修正
T all (時間) で献立候補をソートする際に、parate リストも同時にソートし、かつ `list.index()` の潜在的な問題を避けるために `zip` を使った方法に変更した。
- CSV 保存処理の修正
`output.csv` と `recipe noX.csv` を保存する際に、フィルタリング後のインデックスではなく、`original indices list` を使って元のレシピ番号を参照するように修正した

結果

1. はじめに
 2. 実験結果
 3. 実験結果
 4. 実験結果
 5. 課題
 6. . 課題
 7. まとめ

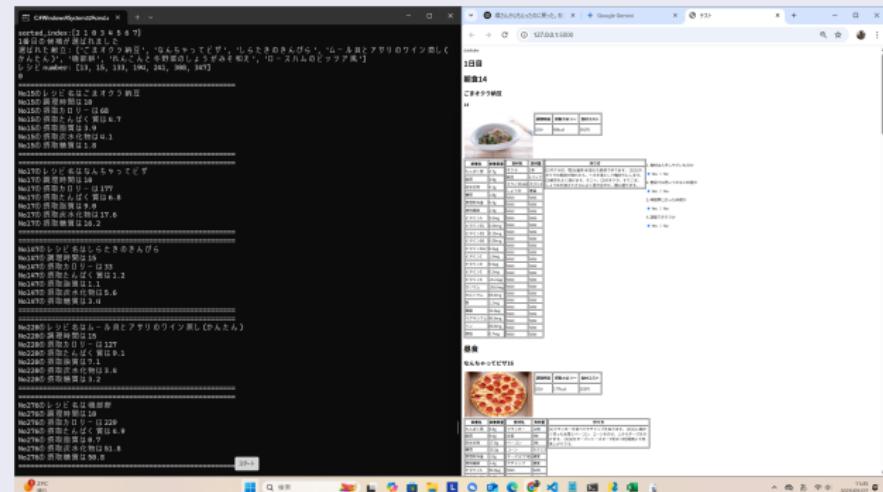


図 2: 修正後の実行結果

課題

今後の課題

各レシピの個別 CSV ファイルへの追記・上書き

- 送信された各レシピ（朝食, 昼食 1~3, 夕食 1~3）について、それぞれのレシピ番号に対応する CSV ファイル（例: data/user/recipe noXXX.csv）が読み込まれる。
- その CSV ファイルに、4 つの質問の回答が新しい列（'入手しやすいか', '思いつかない料理か', '時間帯に沿った料理か', '調理できそうか'）として追加される。
- そして、その CSV ファイルは新しい情報を含んだ形で上書き保存される。

抽出データの別 CSV ファイルへの保存

- 上記で更新された各レシピの CSV ファイルから、最初の 1 行分のデータ（ヘッダー行のすぐ下のデータ行,, ここには質問の回答も含まれている）が抜き出される。
- これらの抜き出されたデータは、cdijnklmn extracted data.csv というファイルに追記されていく。
- さらに、この cdijnklmn extracted data.csv ファイルにヘッダー情報を付加し、数値から単位（g, mg など）を取り除く処理を行ったものが、cdijnklmn extracted with headers.csv という名前の新しい CSV ファイルとして保存される

. 課題

7/8

結果

1. はじめに
2. 実験結果
3. 実験結果
4. 実験結果
5. 課題
6. . 課題
- 7.まとめ

138 sd9	148 コーンヘビ	1	10	179	183	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
138 sd9	147 ハトのササギ	0	20	396	393	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2
138 sd9	151 鶴のささぎ	0	45	100	984	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2
138 sd9	182 人ひきのササギ	0	10	151	259	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
138 sd9	176 地鶴のササギ	0	45	258	345	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2
138 sd9	183 ズバウレ-2	1	15	256	236	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
138 sd9	184 ズバウレ-3	0	45	250	240	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
138 sd9	232 カツオトリ	1	15	350	386	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
138 sd9	240 キタキツオ	0	15	97	142	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
138 sd9	249 キツコロ	1	15	176	185	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4
138 sd9	251 ユサトリ	0	15	401	146	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

図 3: 修正前の実行結果

178 sdffjkk	16 ごまオクラ	0	10	68	391	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
178 vhvbev vb	134 あんこみじ	0	25	164	482	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4
180 cshbdysu	195 みのこのオ	1	25	756	241	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
181 ctuyki	242 二色シグマ	0	45	181	473	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3
182 dftvyciou	309 置葉のササギ	0	15	199	388	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3
183 バブリカカ	0	60	52	484	0	1	1	1	1	1	5	2	2	4	4	4

図 4: 修正後の実行結果

まとめ

8/8

今後すること

- 現在は献立作成.py だけを修正したために、このような状況になっているので、server1.py の修正に進む。
- 組み込めそうな論文・プログラムを survey しているが、まだ決め切れていないので続ける。

1. はじめに
2. 実験結果
3. 実験結果
4. 実験結果
5. 課題
6. . 課題
7. まとめ